



- ◆生育状況はぶどうセンター周辺で展葉8～9枚。平年と比べ5日～1週間程度早い状況です。
- ◆種なしぶどう栽培者は、ストマイの散布遅れがないように注意しましょう。
- ◆ストマイ散布前には花穂に薬液がかかりやすいように新梢の誘引を実施しましょう。

ぶどうセンター付近 露地生育状況	展 葉 期	開 花 期	満 開 期	落 花 期
平 年	5月2日	6月11日	6月14日	6月17日
昨 年	5月2日	6月 6日	6月 9日	6月13日
本 年（有核巨峰）	4月30日	6月3日頃？	6月6日頃？	6月9日頃？
本 年（種なし巨峰）	4月30日	6月4日頃？	6月7日頃？	6月10日頃？
本 年（シャインマスカット）	5月3日	6月12日頃？	6月15日頃？	6月18日頃？

（種なしぶどう関係）

【ストマイ液剤の散布（種なしぶどうのみ必ず散布）】

散布目的	無種子化			
散布時期	満開 14 日前～開花始期まで 5 月 23 日 ～ 6 月上旬			
使用濃度	水	100ℓ	散布日	月 日
	展着剤	10ml	散布量	ℓ
	ストマイ液剤20	100ml		
散布量	10a 当り 300ℓ			
散布方法	①種なしぶどうは必ず散布する ②有核ぶどうには絶対にかからないように注意する ③散布時期を厳守し、開花直前にならないよう注意する（種子の混入注意） ④種なし巨峰とシャインマスカットの混植園は開花時期が違うので、ストマイの散布時期に注意する。 ⑤花穂に当たらないと効果が落ちるので、枝が混んでいる場合は新梢整理を実施する。			

【第4回ぶどう薬剤散布（有核・種なし共通）】

散布時期	開花3日前（5/27～6/1日頃）または 前回から10日後			
散布薬剤	水	100ℓ	散布日	月 日
	展着剤	10ml	散布量	ℓ
	スイッチ顆粒水和剤	33 g		
	オーソサイド水和剤80	125 g		
	オルトラン水和剤	66 g		
	【有核巨峰はマルポロン 100 g（花振り防止）】 【種なしぶどうはビクマグ 100 g（葉の健全化）】			
散布量	10a当り 400ℓ 以上 死角のないようたっぷり散布する			
適用病害虫	べと病・灰色かび病・晚腐病・褐斑病・黒とう病・スリップス類・フタテンヒメヨコバイ			
注意点	※開花が早まる予想です、散布遅れに注意して下さい。 ① オルトラン水和剤は果樹類に登録が少ないため、隣接園に飛散しないよう注意する。 ② 灰色かび病の発生園はゲッター水和剤 1,500 倍（45 日前まで 1 回）を散布する。 ③ アリエッティ C 水和剤とオーソサイド水和剤 80 の一成分が同一のため、散布回数に注意（合計 2 回まで）			

【フラスター散布（有核・種なし共通）】

散布目的	着粒安定・新梢伸長抑制											
散布時期	展葉１１枚頃（開花始期まで）　　６月上旬頃											
使用濃度	手散布の場合		または	SS 散布の場合		<table><tr><td>散布日</td><td>月</td><td>日</td></tr><tr><td>散布量</td><td colspan="2">ℓ</td></tr></table>	散布日	月	日	散布量	ℓ	
	散布日	月		日								
散布量	ℓ											
	水	100ℓ		水	100ℓ							
	アプローチB	200ml		アプローチB	200ml							
	フラスター液剤	200ml		フラスター液剤	100ml							
散布量	手散布　　10a 当り 150 ℓ		SS　　10a 当り 300 ℓ									
散布方法	※品種により散布倍率が違います。 ① 散布倍率と散布量を厳守する。 ② 花房にかかるように園全体に均一に散布する。 ③ 農薬とは混用しない。(単用散布とする) ④ 日中の高温時は避け、乾きにくい時間帯に散布する。 ⑤ 種なし栽培で樹勢が強い場合は、花振り防止のため 1,000 倍で散布する。尚、展着剤についてはハイテンパワー10,000 倍を使用する。											

【第５回ぶどう薬剤散布（有核・種なし共通）】

散布時期	落花直後（6/7～11日頃）または 前回から 10 日後								
散布薬剤	水	100ℓ	<table><tr><td>散布日</td><td>月</td><td>日</td></tr><tr><td>散布量</td><td colspan="2">ℓ</td></tr></table>	散布日	月	日	散布量	ℓ	
	散布日	月		日					
散布量	ℓ								
	劇 コテツフロアブル	50ml							
	オンリーワンフロアブル	50ml							
	ジマンダイセン水和剤	100 g							
	【種なしぶどうはビックマグ 100 g（葉の健全化）】								
散布量	10a 当り 400ℓ 以上 死角のないようたっぷり散布する								
適用病害虫	べと病・灰色かび病・晩腐病・褐斑病・黒とう病・スリップス類・フタテンヒメヨコバイ								
注意点	① 果粉溶脱防止のため、今回から展着剤は加用しない。 ② ジマンダイセン・ペンコゼブ・リドミルは同一成分のため、散布回数に注意（合計 2 回まで） ③ うどんこ病の発生が多い場合は、フルピカフロアブル 2,000 倍（収穫 30 日前まで、2 回）を加用する。								

品種別　房切り基準、目標房重、粒数表

品種	房切り基準	目標粒重	目標房重
有核巨峰	満開時 7.0 cm	35 粒	350 g
種なし巨峰	満開時 3.0 cm	30 粒	400 g
シャインマスカット（5k）	満開時 3.5 cm	35 粒	500 g
シャインマスカット（PC）	満開時 2.5 cm	25 粒	350 g
ピオーネ	満開時 2.5 cm	25 粒	400 g
ナガノパープル	満開時 3.0 cm	30 粒	400 g
クイーンニーナ	満開時 3.0 cm	30 粒	500 g
ロザリオビアンコ	満開時 7.0 cm	35 粒	400 g
サニールージュ	満開時 6.0 cm	40 粒	300 g

・かん水の実施

近年の気象傾向は、開花前に乾燥し開花直前に長雨が降る傾向にあります。開花前に急激な降雨があると樹勢が一気に強くなり結実が不安定になることがありますので、乾燥が続く場合は定期的なかん水を実施し、急激な雨に備えるようにしましょう。あわせて敷きワラの実施をしましょう。